豊かな時刻を

「挑戦」「創造」「貢献」「誇り」

中沢中学校　学校だより
令和8年度　第5号
令和8年9月25日



翠城祭文化の部を開催しました

校長　山田　裕康

2学期がスタートしてから一ヶ月、 例年のような残暑の日も少なく、生徒たちは順調に学校生活を送っています。その中で9月18日に城山もみじホールにて、翠城祭文化の部を開催しました。9月に入り雨が続いていましたが、当日は晴れ間が見え、開催には絶好の日となりました。平日にもかかわらず、多くの保護者やご家族の方々にお越しいただきました。 ホールでの開催は体育館とは違った緊張感がある中で、令和8年度の翠城祭文化の部が始まりました。

学年合唱、そして色別の発表と進んでいく中で、録画を担当していた私はあることに気づきました。それは、生徒たちが発表者としてそして聴衆として心から合唱、合奏を楽しんでいることでした。練習をしてきた中ではうまくいかなかったり、苦労もあったことと思います。これは、実行委員さんやスローガンの横看板を作成した美術部、繰り返し練習を重ねてきた吹奏楽部の人たちも同じではないかと思うのです。しかし、日に日に、上手に歌えたり、演奏できるようになる中で色々な思いが一つになり、今日の文化の部を迎えたのだと思います。まさに、スローガンの「『頂奏』～ぼくらの色で塗りつぶせ！！」を実現したのではないでしょうか。
閉会式での実行委員長さんのことばの一部を紹介します。

私はこれから過ごす中でも一人ひとりが成し遂げた練習に粘り強く取り組むこと、協力して一体となることは極めて大切な経験だと考えています。 今回の達成感とともにこれまでの練習も、自信として自負していきましょう。

今回の文化の部での成功、そして成長できたことを更に生かし、10月の体育の部に臨んでもらいたいと思います。当日はPTAの各委員会の皆様のご協力により、滞りなく開催できました。また、吹奏楽部の保護者の皆様には楽器の運搬等、快くお引き受けくださいました。改めて御礼申し上げます。












